

市議会だより

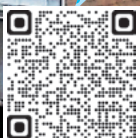


* 目次 Contents

主な審議内容	2
委員会レポート	2-3
議決結果	4
議員定数を22人から21人に削減します	5
ようこそ議場見学会へ!	5
各派代表質問	6-11
「予算決算審査サイクル」	12
議会日誌	12
議会の予定	12
やまばと	12

池田市議会本会議の
ライブ中継を
行っております!

池田市議会 ライブ中継  



主な審議内容

3月定例会

3月定例会は、2月27日に開会し、市長から提出された報告案件3件、令和8年度各会計予算など議案33件及び人事案件2件並びに議員提出議案1件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも承認・可決・同意しました。

市長の「令和8年度施政及び予算編成方針」と教育長の「令和8年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を3月6日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして3月27日には、市長から提出された追加議案2件と議員提出議案2件を審議し、いずれも可決して3月定例会を閉会しました。

「令和8年度一般会計予算を可決 総額は467億4,100万円」

まちづくり

サカエマチ商店街などの阪急池田駅北側周辺施設を結ぶ滞在回遊拠点として、コミュニティセンター跡地を再整備し、地域と連携しながら、誰もが歩きたくなるようなウォークアブルなまちの実現を目指すため、2億5,450万円を計上しています。

福祉

敬老会館と周辺に位置する共同利用施設を集約・複合化し、世代を超えた交流や新たなコミュニティの醸成につながる多世代交流施設の整備・建設工事を実施するため、14億6,010万円を計上しています。

教育

令和10年度の部活動の完全地域展開を見据え、指導団体数を確保し、子どもたちの選択肢を広げるとともに文化・スポーツの提供機会の拡充を図るため、2,348万7千円を計上しています。

防災

市内27か所に設置している池田市防災行政無線とその親局設備、補助局設備について、災害時における迅速かつ的確な情報提供を確保するための更新費用として、2億5,600万円を計上しています。(債務負担行為)

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を含む一般会計補正予算を可決」

今回、提出された令和7年度一般会計補正予算案では、地方創生臨時交付金を活用して、物価高騰の影響を受ける市民や事業者の生活支援を目的とする事業の実施に係る提案がありました。審議の中では、事業選定の基準と背景、事業実施の決定の時期、事業の周知方法などについて質疑を交わしましたが、結局、全会一致で可決しました。

別途、詳細な事業概要や申請方法は、市広報誌やホームページを御確認ください。

総務委員会

公共施設使用料改定の背景及び利用促進策への取組は《ダイバーシティセンター条例等の一部改正》

問 今回の提案は、使用料及び手数料について、管理運営経費等を鑑みて、全庁的な見直しによる金額の改定等を行うとのことである。各公共施設の使用料等の改定が提案されている中で、比較的新しいダイバーシティセンターにおいても、他の既存施設と同様に約20%の値上げを行おうとしているが、値上げの根拠について問う。

また、公共施設として利便性の確保が重要である中、料金改定により、利用者の減少を招く懸念があると考えますが、その影響について問う。

答 今回の使用料等の改定は、市内全施設

を対象として適正な使用料等を算定するため、令和7年に策定した池田市使用料の算定及び見直しに関する指針に基づき実施するものである。使用料等については、人件費や物件費など、管理運営経費等を基礎として算出しており、ダイバーシティセンターについても、過去3年間の実績を踏まえ設定した。また、算定結果による急激な負担増を避けるため、激変緩和措置として改定率の上限をおおむね20%とした。

利用者減少の懸念については、利用促進の取組は値上げの有無にかかわらず必要であるとの認識の下、公共施設予約システムの導入など、デジタル技術の活用により、利便性の向上に努めていきたいと考えている。

文教病院委員会

大阪・関西万博の木材再利用による、くれは音楽堂ステージ改修の詳細及び周知方法は《一般会計予算》

問 くれは音楽堂のステージ改修に係る請負費として、社会教育施設管理工事1,430万円を予算計上している。

大阪・関西万博で使用された大屋根リングの木材を再利用し、くれは音楽堂のステージ改修に活用するとのことだが、使用する木材の詳細や活用方法、周知方法について問う。

答 くれは音楽堂のステージに活用する大屋根リングの木材は、実際に人が歩いていた部分のヒノキ材であり、縦約2.3m、横約8.3m、厚さ約9cmの部材を2枚使

用する予定で、ステージ部分をおおむねカバーできる大きさとなっている。

また、大屋根リングを使用していることが分かるように、ステージには銘板を設置するとともに、ロビー等において展示を行うなど、周知を図っていきたいと考えている。

●その他の審査議案

- ・都市公園運動施設条例の一部改正
- ・学校施設の目的外使用に関する条例の一部改正
- ・幼稚園型認定こども園条例の一部改正 など

厚生委員会

ファミリーサポートセンターの制度変更に伴う財政負担と安全確保への取組は《一般会計予算》

問 今回、ファミリーサポートセンター運営事業について、依頼会員の利用率引下げと援助会員の報酬引上げを図るため、補助金を追加しているが、本市の財政負担の妥当性を問う。

また、制度変更後における援助会員の質の確保及び預かり時の安全性の確保について、どのように取り組むのか問う。

答 市の財政負担については、子育て家庭の孤立防止や育児不安の軽減など、将来的な社会的コストの抑制につながる投資

であり、地域全体で子どもを育てる基盤整備として妥当なものと考えている。

また、援助会員の質の確保及び安全性の確保については、援助会員に対する安全講習の受講を義務づけており、援助会員数が増加しても基準を緩めることなく、安全性及び信頼性を最優先に事業を実施していきたいと考えている。

●その他の審査議案

- ・多世代交流センター条例の制定
- ・国民健康保険条例の一部改正
- ・介護保険条例の一部改正 など

土木消防委員会

(仮称)池田市交通総合戦略の策定及び自転車交通ルール啓発への取組は《一般会計予算》

問 交通対策費に地域公共交通改善事業の負担金として1,100万円を計上している。これは池田市地域公共交通計画の見直しに合わせ、池田市自転車活用推進計画と統合し、(仮称)池田市交通総合戦略を策定するとのことである。

本年4月より、自転車の交通違反に対する取締りが強化されるなど、自転車の交通ルールやマナーの啓発の重要性が高まっていくものと考えているが、こうした点を踏まえ、交通総合戦略をどのように考えているのか、見解を問う。

答 今回策定を予定している(仮称)池田市交通総合戦略は、自転車などの個人の移動手段と鉄道やバスなどの公共交通を一体的に地域の交通として位置づけ、市民の移動手段の確保を図ることを考えている。

また、本年4月から自転車の交通違反に対する取締りが強化されることを踏まえ、自転車の交通ルールやマナーの周知も含め、交通施策を総合的に検討していきたいと考えている。

●その他の審査議案

- ・手数料条例の一部改正
- ・水道事業給水条例の一部改正
- ・環境保全条例の一部改正 など

議員定数を22人から21人に削減します

3月定例会において、議員提出議案第1号「池田市議会議員定数条例の一部改正について」が提出され、3月13日の議会運営委員会で審査した後、3月27日の定例会最終日で採決を行った結果、賛成多数で可決しました。

次回の一般選挙(令和9年4月執行予定)から議員定数が21人になります。



議員定数見直しの経緯

平成27年	議員定数を1人削減して、現在の議員定数22人となる。
令和5年～	今任期のスタートに伴い、議会改革を検討する議会運営委員会において、本市議会の議員定数が適正かどうか検討すべきではないかとの議題が上がる。
令和7年～8年	議会改革を検討する議会運営委員会において、議員定数に関する事項について議員間で協議を行った。



主な審議内容

問

今回、本市の議員定数を現行の22人から1人削減する議員提出議案が出された。議員は市民の代表として、市政運営をチェックするとともに、多様な市民の声を行政に反映する役割を担っている。議員定数22人は全国平均からみても多すぎるとは言えず、これ以上の削減は市民の声を十分に把握できなくなるおそれがある。

また、これまでも定数削減が進められてきた中で、現状の人数においても全ての市民の声を拾い切るのは難しいと考える。こうした観点から、議員定数の削減が適切であるのか、見解を伺う。

答

本市の議員定数22人は全国的にみて特段多いものではないが、関西の類似団体と比較すると多い状況を踏まえ、議員定数について検討を行った議会運営委員会において、適正な人数についての議論の中で、1人以上の削減を求める意見が多かったため、今回の議案の提出に至ったものである。

近年、議員辞職等により、19人で議会運営を行ってきた時期においても、各議員が議論の質を維持しながら対応してきたところであり、議会機能が低下したとは言えない。

今後も、限られた体制の中で議論の質を一層高め、多様な手法により市民の声の把握に努めていくことで、1人の削減については可能であると考えます。

ようこそ議場見学会へ！



令和8年4月4日(土)、池田市議会議場において、「議場見学会」を開催しました。

開催目的は、次代を担う子どもたちに、市議会の仕組みや役割などについて関心を持っていただくことです。

当日は、市内公立小学校に通う児童19人とその保護者が参加しました。

議員席に座った児童たちは、市議会の仕組みについて説明を受けたほか、議会クイズに挑戦したり、普段座ることができない議長席に座って写真撮影を行うなど、楽しみながら市議会について学びました。

各派代表質問

不安をかかえる高齢者に、希望の光が届くように、市政の再バランスを！

公明党

所属議員

多田 隆一 荒木 眞澄 藤本 昌宏



発言者

ただりゅういち
多田隆一
議員

物価高対策商品券、はがきの申請もできないか

問 国の交付金を活用し、プレミアム付デジタル商品券事業に取り組まれるが、デジタルの申込みが難しい高齢者向けに、はがきで申し込める紙の商品券も追加できないか。



答 不慣れな方への対応として、専用コールセンターを設置し、手厚い支援を予定。紙の商品券は、事務費がかかることから、今回はデジタルのみとする。

市民参加型の文化・イベント事業の継続を

問 池田五月山さくらまつりの廃止理由は。文化行政には、人と人をつなぐ力があり、分断化や孤立化が懸念される社会において重要施策である。また、介護予防も期待でき、市民参加型文化事業の継続展開を。

答 池田五月山さくらまつりの廃止については、同時期に他のイベントが増えたこと、参加団体の人手不足、本市の厳しい財政状況などにより、実行委員会で決定。今後のイベント実施は、一律に縮小化を図るのではなく、その時々で判断する。

年々進む高齢化に伴う市民の移動手段の確保

問 車や自転車の運転が、危なくなっている市民が増えているにもかかわらず、公共

交通の不便さは増すばかりである。具体的な施策の展開を図るべきではないか。実際に困っている市民の声を聞く場を、全市的に継続して設けてはどうか。

答 これまでの鉄道やバス、タクシーに加えて、自転車やパーソナルモビリティなどの活用も検討中である。地域

パーソナルモビリティ
(イメージ)



住民との協議の場は、検討手法の一つと認識しており、さらに、人流データやアンケート調査等も活用していく。

給食費無償化事業 財源確保し恒久的に実施を

問 無償化には賛成だが、臨時的な財源に頼った綱渡り的な事業展開では、事業の継続は望めない。令和8年度から小学生分は国による予算化が実現したことから、中学生分についても本市において、恒久的な財源を確保できないか。

答 継続の必要性は認識しているが、本市の財政状況を踏まえながら検討する。また、国に対して中学生部分の制度化も要望する。

硬直化する本市財政具体的な財政健全化策を

問 経常収支比率の改善目標や、スケジュールを明確にし健全化を図るべきではないか。

答 具体的な数値目標の設定や公表は行っていないが、個別事業の見直しで対応する。大きな方向性を示すことは必要と認識している。

つながりを大切に 未来に夢や希望をはぐくむ市政運営を

未来はぐくむプロジェクト

所属議員

園部 佳子 倉田 晃 名村研二郎



発言者

くら た あきら
倉田 晃
議員



旧コミュニティセンターの整備計画について

問 旧栄本町コミュニティセンターの整備計画（構想）と整備スケジュールを問う。

答 ウォークブルの推進を目的に、既存建物を減築し、全天候型の交流スペース機能を備えた施設として再整備を行う予定。市民の皆様の多様な活動やニーズに合わせて柔軟に活用できる空間づくりを目指す。整備スケジュールについては、令和8年度から工事に着手し、令和10年春の供用開始を目指している。

石橋阪大前駅周辺のまちづくりについて

問 石橋阪大前駅周辺のまちづくりの構想について、見解を問う。

答 これまで石橋阪大前駅周辺まちづくり協議会が実施するイベントやアンケート調査、サンロード社会実験を通じて、地域のニーズや意見、来街者の動向の把握などに努めてきた。現在「駅周辺将来ビジョン」の作成に取り組んでおり、地域の皆様の意見を伺いながら、地域特性を生かしたまちづくりを推進していく。

日清食品HDの施設移転計画について

問 日清食品ホールディングス(株)の施設移転計画の概要や今後スケジュールについて問う。

答 創業者・安藤百福氏の旧邸宅跡地において、良好な住環境への配慮を前提としつつ、オフィスと研修機能を備えた新施設を建設するものであると認識。本計画は、都市の魅力向上や地域活性化に大きく寄与するものであり、また

同社の大規模災害時の安定的な援助機能にも期待できることから、都市価値を高めるものと考えている。現在、同社において、周辺住民への説明会の開催等が行われており、今年6月頃に提案書提出を予定していると聞き及んでいる。

節目を迎える地域分権制度の意義について

問 地域分権制度の意義について、また20年の節目に当たりイベント等開催の予定について、見解を問う。

答 地域分権制度は、地域の多様なニーズや独自性を生かしたきめ細やかな行政サービスの提供を可能にするとともに、住民自治の意識改革という面でも大きな意義があるものと考えている。なお、節目にかかるイベントとしては、地域分権検討会議委員による記念講演や対談等を検討している。

コミュニティ・スクール制度の充実について

問 令和8年度に全市立学校で制度化されることになるが本制度が機能するために考えている工夫などについて、見解を問う。

答 学校運営協議会が情報共有の場にとどまることなく、学校・地域が抱える諸課題の解決、豊かな学びの場の創出等、具体的な活動へつなげていくことが肝要である。学校と地域における合同研修会の実施、情報交換や事例共有できる場の設定等、各校における協議会の運営を適宜支援していく。

各派代表質問

憲法を真ん中に据えた 暮らし・福祉第一の池田市を

日本共産党

所属議員

山元 建 藤原美知子



発言者

やまもと たけし
山元 建
議員

学校給食費無償を国の制度に

問 国が小学校の給食費無償に踏み出した。市長も行政、議会そして市民の声が全国の自治体と共鳴し、国を動かしたと答弁。中学校も義務教育無償の観点から国にその実施を求めていくべき。それまでは市独自に継続すべき。

答 中学校給食無償化についても、公立学校設置者の立場として、国に対して引き続き要望していくほか、来年度以降は財政状況を勘案する。

国保料の負担軽減を

問 地方自治の役割は憲法第25条に基づき、福祉の増進を図ることにある。約3億円の次年度繰越金を還元し、高すぎる国保料軽減を図り、市独自の軽減策を講じるべき。

答 年々保険料が上昇傾向であることは認識。国・府に負担軽減を要望していく。

重度障がい児の命を守る施策を

問 災害時、重度障がい児は一般の人で混雑する指定一般避難所に避難すると命の危険にさらされかねない。障がい児の生存権（憲法第25条）を守る立場から福祉避難所へ迅速に避難できる体制を構築すべき。

答 個人情報の取扱いや受入れ体制に課題があるが、迅速に避難できる体制構築に努める。

主権国家への軍事力行使を許さない

問 憲法前文は世界の国民が平和に生きる権利を有することをうたっている。ロシア、イ

スラエル及びアメリカによる他国への軍事侵攻は国際法上も人道上も許されない。抗議すべき。

答 地方自治体の長として見解を述べる立場ではないが、外交による平和的解決を望む。

まちにベンチの設置を

問 高齢者や夏の酷暑で外出が困難な市民のために道路脇にベンチの設置が必要。折り畳み式ベンチを試行的に設置してはどうか。

答 車両や歩行者の通行を妨げるおそれがあるなどの課題を克服しながら慎重に検討。

学校の猛暑対策を

問 学校最上階などの猛暑対策は早急の課題。子どもの安全のため、2学期開始時期を遅らせることも検討すべき。

答 令和8年度は3小学校49教室に遮熱カーテンを設置する。2学期開始時期は必要な授業日数の確保を踏まえて決定。

小中一貫校の総括を

問 施設一体型小中一貫校設立10年の総括と検証に関する意見書（池田市教育委員会活動点検評価委員会）の作成の過程では、学力向上、いじめ・不登校の克服、中1ギャップ解消など市教委が当初掲げた課題に対してはどう論議されたのか。

答 委員会で評価され、課題も指摘されている。

市民の声を形にしながら現場の視点に 立ち共に歩み、市政を前に進めていく

池田未来の会

所属議員

下窄 明 西垣 智 中田 正紀
坂上 昭栄



発言者

さか がみ しょう えい
坂上 昭栄
議員



本市におけるごみの減量の課題認識について

問 これまでも市民の協力を得ながら、ごみ減量の啓発等を行ってきたと認識している。現時点での課題認識について問う。

答 本市ではごみ減量に取り組んできたが、近年は生活様式の変化により、処分が不明確なごみが増え、処理に課題が生じている。今後も適正処理と減量に努めていく。

クレパの運用の取組について

問 多くの利用を促すため、利活用トライアルを現在実施中である。現時点での評価と課題、指定管理者制度の導入等について問う。

答 利活用トライアルでは多様な取組が実施され、にぎわい創出に一定の手応えがある一方、動線配慮や運営ルールの整理が課題と認識している。今後はトライアルの結果などを踏まえ、指定管理者制度の導入を検討していく。

コミュニティセンター跡地の整備について

問 誰もが歩きたくなるようなウォークアブルなまちの実現を目指し、建物の活用に向けた実証実験等を実施。今後の整備について問う。

答 既存建物を減築し、全天候型の交流スペース機能を備えた施設とした再整備を行う予定。過年度の社会実験の結果を踏まえ、特定の用途の利用ではなく、多様な活動やニーズに合わせて柔軟に活用できる仕組みを検討していく。

高齢福祉と多世代交流施設の利活用について

問 どのような機能や目的を持った施設として位置づけているのか。また、具体的にどのような利用を想定しているのか問う。

答 介護予防や生きがいづくり、地域住民の交流促進、世代を超えたふれあいの場の提供などを目的としている。老人福祉エリアは高齢者団体の活動や交流の場として、交流エリアは貸館や自習室、キッズルーム等を備え、幅広い世代が気軽に利用できる場を想定している。

公共施設の再整備について

問 公共施設の集約・複合化に伴う利用者への影響をどのように把握し、代替機能や利用環境の確保をどのように進めるのか問う。

答 再整備に当たり、市民との対話や施設利用状況等により、利用者への影響を把握する。代替機能や利用環境の確保は、施設の集約・複合化等の手法を用いて必要な機能の維持を図る。

部活動の地域展開に向けた取組について

問 国のスケジュール変更により不安の声もある中、本市の地域展開の進め方について、そうした声をどのように把握しているのか問う。

答 国は令和8年度から6か年で休日の部活動の地域展開を進め、平日も含めた改革を求めている。本市は国と異なる進め方であるが、近隣市でも地域展開が進み、教員の働き方や少子化を踏まえると、スケジュールの再調整は現実的ではないものと認識している。

各派代表質問

安全・安心なまちづくりがどこまで担保されているか。価値を高めよう!!

大阪維新の会池田

所属議員

安黒 善雄 三宅 正起 古川 裕倫
笹村有里子 土田 麻衣



発言者

あ ぐろ よし お
安黒善雄
議員

池田駅南広場クレパと神田地域の水災害の対応は

問 クレパや神田地域において、ハザードマップ上では、最悪の場合、どの程度の浸水状況を想定しているのか。また、その対策は。

答 猪名川洪水時の最大浸水深は、クレパで0.5m、神田小学校が所在する地域は0.5m～3.0m、神田3・4丁目は5.0m以上と想定されているものと認識。そこで、駅前のビル地下施設への水の流入を止める止水板や土のうなどの備えの必要性を民間事業者と検討する。神田小学校の浸水対策は、電源装置の移設を含め、大規模な施設の改修・改築等に合わせて実施していきたい。

令和8年度予算編成における財源取組策は

問 予算編成に当たって、どのように各部署に大枠をはめ、優先順位を決定したかを問う。

答 予算編成に当たっては、各部署に一般財源ベースで前年度比3%削減を求め、毎年度、重点的に取り組むべきテーマ設定の下、新規施策や重点テーマを入れていった。

市立池田病院の急性期病院としての役割は

問 周辺自治体に急性期病院がひしめく中で、市立池田病院の将来展望としてリハビリ、回復期病院の機能強化で差別化が図れないのか。

答 急性期医療等の不採算医療を担うことが公立病院の責務であり、国の方針どおり市民の命と健康を守っていく。新たに国から地域医療構想のガイドラインが出れば、それを踏まえて今後の機能の方向性や最適な在り方を検討。近隣

病院と緊密な連携で持続可能な高度化を図る。

災害協定の締結内容をいかに市民に周知するか

問 本市は大災害に備えて、多くの民間企業・団体と災害協定を締結している。そこでこの協定をどう市民の備えとして生かすか。周知内容等も踏まえて問う。

答 災害協定の締結数は令和8年2月末現在で108件。民間協定は、公助補完をする意味でも必要である。市民への周知は、市ホームページに掲載し、地域防災計画の改定時に新たな締結協定を追記しているところである。

季節の魅力発信と案内掲示板の今後の在り方は

問 市内各地でイベントを開催している中、桜の開花状況など、本市の四季折々の季節の魅力発信を、多くの観光客だけでなく、市民にもすぐに分かるように、案内掲示板等を設置して発信できないか問う。

答 阪急池田駅改札口にある大阪池田ゲストインフォメーションにおいて、スタッフによる案内のほか、パンフレット配布やポスター掲示などを通じて実施。梅・桜・サツキ・ショウブ・紅葉など季節の花の見頃や開花状況について、壁面掲示により、案内をしている。案内掲示板の今後の在り方は、デジタルサイネージが年々広がりを見せている中で、掲示目的やターゲットを踏まえ、効果的な手法を検討しながら、柔軟に対応していきたい。

未来に希望が持てる 安全・安心なまちづくりの推進について

自民党保守の会

所属議員

小林 義典 浜地慎一郎 沖本 純子
松本康二郎



発言者

まつもと こうじろう
松本康二郎
議員



福祉バスの運行状況について

問 高齢福祉の充実の観点から、多世代交流施設の整備に当たり検討されている福祉バスの運行について、本数やルートに関する現時点での見解を問う。

答 現在、運行ルートや乗車率のばらつきなどの課題整理を進めており、利便性の向上と施設利用促進につながる見直しを進めていく。

細河地域のまちづくり基本方針見直しについて

問 「池田市市街化調整区域のまちづくり基本方針」の見直しに当たり、行政内部での議論に加え、民間事業者や専門家など、外部の知見や多様な発想を取り入れることも有効ではないかと考えるが、今後の方針について、見解を問う。

答 見直しについては、地域住民の意向を丁寧に把握しながら検討を進める予定である。また、地域の意向を踏まえつつ、必要に応じて外部の専門的知見などを取り入れることも検討しながら、見直しを進めていく。

自主防災組織と大規模防災訓練について

問 自主防災組織に期待する具体的な活動内容と消防・消防団との役割分担について問う。あわせて、大規模防災訓練や備蓄物資の活用を想定した訓練の必要性について、見解を問う。

答 自主防災組織は住民参加による共助の担い手として、救助活動や避難所運営などを担っている。消防団は非常勤特別職の地方公務員として、消火・救助活動などを行い、それぞ

れが連携して災害対応に当たっている。防災訓練については、資機材の活用などを含めた実践的な取組を進めていく。

こども誰でも通園制度について

問 制度名に反して定員が2歳児2名となっている。制度効果の検証のためか、あるいは受入体制の制約によるものか。あわせて、今後段階的に定員を増やす予定があるのか問う。

答 令和7年10月に1施設で受入れを開始。定員については、当該施設の申請により設備及び職員配置に関する認可基準に従い設定されたものである。令和8年11月からは公立施設での実施を予定しており、定員は増加する見込みである。

部活動の地域展開について

問 中学校部活動の地域展開について、寄附の状況、クラブ数や会費設定、生活困窮世帯への支援などについて現状と今後の方向性について問う。

答 クラウドファンディングでは642万9千円、個人版ふるさと納税では2,140万3,400円の寄附をいただいた。地域クラブは現在62クラブを認定しており、今後は70クラブ程度を目標としている。会費は各クラブに委ねているが、低廉化を依頼するとともに、経済的困窮世帯への支援についても検討を進めている。

議会日誌

月	日	内 容
1	28	議会運営委員会
2	20	予算内示会 各派代表者会議 議会運営委員会
	25	各派代表者会議
	27	各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会 市議会だより編集特別委員会
3	6	市議会定例会
	9	各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会
	11	土木消防委員会
	12	厚生委員会
	13	議会運営委員会
	16	文教病院委員会
	19	総務委員会
	27	各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会
4	8	市議会だより編集特別委員会
	15	市議会だより編集特別委員会

議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月14日(木)に臨時会を開催する予定です。

6月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

月	日	曜日	内 容
6	4	(木)	本 会 議
	11	(木)	委 員 会
	12	(金)	委 員 会
	15	(月)	委 員 会
	16	(火)	委 員 会
	29	(月)	本 会 議
	30	(火)	本 会 議

市議会だより
編集特別委員会

- 委員 長 坂上 昭栄
- 副委員 長 土田 麻衣
- 委 員 名村 研二郎
- 委 員 藤本 昌宏
- 委 員 藤原 美知子
- 委 員 浜地 慎一郎

「予算決算審査サイクル」～議会からの提言について～

昨年12月に、令和8年度の予算編成に向けた、12の提言を市長に提出し、以下のとおり、10の提言が反映され、残り2つの提言は引き続き検討されることになりました。

主な反映結果

●公共施設の再整備と共同利用施設の運営方法の見直しについて

公共施設再整備事業計画に基づき、市民説明会などの対話の機会を設けるとともに、財政状況を踏まえた適切な予算措置を講じながら、公共施設の再整備を進めていく。

また、共同利用施設にかかる管理運営の在り方を見直しについては、施設予約の申請方法も含め、総合的な見直しを検討していく。

●教職員及び専門職の確保等について

補充体制の構築は、講師不足により厳しい状況にあるが、市の加配教員の活用による柔軟な対応を行っている。講師の任用に当たっては、質的要素を重視し、経歴等を確認している。

不登校やいじめ対策としては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを校内支援体制に組み込み、スクールアシストメイトの活用により、児童・生徒への支援を進めていく。

●高齢者が安心して暮らせる環境づくりについて

高齢者の社会参加を促す移動手段として、福祉バスについては運行経路や乗車率のばらつき等の課題を整理し、利便性向上に向けて取り組んでいく。また、

南部地域における民間バスの減便を踏まえ、地域公共交通の検討と併せて福祉バスの在り方についても引き続き検討していく。

●道路環境整備関連予算の拡充について

市公式LINEの「道路などの損傷通報」機能については、市広報誌への掲載などを通じて市民への周知を図り、迅速な補修につなげられるように努めていく。

また、バリアフリー対策や狹隘道路整備、カーブミラーの設置、側溝整備などの交通安全対策をはじめ、排水設備の点検・清掃、外側線等の補修及び街路灯の定期的な点検などを実施するとともに、阪急池田駅前南側の周辺道路については、インターロッキング舗装の損傷度に応じて、地元等と協力しながら必要な補修を検討していく。

その他

- 地域の防犯力・防災力の向上について
- 多様な人材の登用と働きやすい職場環境の整備について
- 学校施設の再整備について
- 市立池田病院の安定経営及び医療従事者の確保について
- 感染症対策について
- 訪問指導事業(母子保健)の報酬改善について

やまばと

行く春を惜しみつつ、新緑に目を奪われる時期となりました。

市民の皆様におかれましては、お変わりなくお健やかにお過ごしのことと存じます。

さて、3月議会では、令和8年度「施政及び予算編成方針」「教育方針と主要施策」を受けて、各派代表質問をはじめ、各常任委員会において令和8年度の予算審議等を行いましたので、今号では、その内容等を掲載いたしました。

今年度におきましても、不安定な国際情勢や物価高騰、また、本市におきましては社会保障関係費の増加や老朽化施設の課題

など、厳しい財政状況が続いております。

しかしながら、誰もが安心して暮らし続けられる共生社会の実現に向け、また多様化・複雑化する諸課題に対し、市民の皆様は軸足を置いて取り組んでまいります。

私たちが市議会だより編集委員は、今号をもって任期が最後となります。この一年間の御愛読、誠にありがとうございました。

次号からは新編集委員で、より良い紙面づくりを目指して取り組んでまいります。

引き続き「いけだ市議会だより」を御愛読いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

いけだ市議会だより No.199
令和8年(2026年)5月1日発行

編集発行：池田市議会 <https://www.city.ikeda.osaka.jp/>
〒563-8666 大阪府池田市城南1丁目1番1号
TEL.072-754-6170 FAX.072-753-5414

